

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科合着用グラスポリアルケノエート系レジンセメント (70841002)

ジーシー フジオルソ LC

【禁忌・禁止】

グラスアイオノマーセメント、メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

形状・構造*

粉末：15 g
液：8 g (6.8 mL)

主成分*

粉末：フルオロアルミノシリケートガラス
液：メタクリル酸エステル、ポリアクリル酸、蒸留水

原理

粉末と液の混合によりペースト状となり、フルオロアルミノシリケートガラスとポリカルボン酸水溶液との反応、及びメタクリレート系モノマーの重合により硬化する。

【使用目的又は効果】

本品は、歯科矯正用装置（ブラケット、バンド）と歯質の接着材として使用する、光重合型歯科矯正用レジン強化型グラスアイオノマーセメントである。

【使用方法等】

- 1) ジーシー オルソコンディショナーによる清掃：接着部位にジーシー オルソコンディショナーを塗布し、10～20秒後に水洗・乾燥を行います。
- 2) 粉末・液の計量：標準粉液比は、粉末 3.0 g に対して液 1.0 g です。パウダースプーンすり切り 1 杯分の粉末に対して液 1 滴を採れば、ほぼこれに相当する比率が得られます。
- 3) 練和：練和紙上に所定量の粉末と液を採取し、プラスチックヘラを用いて練和します。粉末は 2 等分し、最初の区分を液に加え約 10～15 秒間練和し均一な状態とした後、残りの区分を液に加えて練和し、合計 25～30 秒程度で充分均一に練り上げます。
- 4) ブラケットボンディング
 - ① ブラケットの接着面にセメントペーストをプラスチックヘラで塗ります。
 - ② 歯牙のボンディング部位に圧着します。
 - ③ 余剰セメントの除去は、スケーラーやエキスポローラーで柔らかいうちに除去します。除去のタイミングは、次のブラケット圧接後、その前の除去を始めるくらいが適切です。
 - ④ 光重合：歯科重合用光照射器により照射し、重合します。ブラケットボンディングの場合は、ブラケットの左右より光照射を行います。*

＜歯科重合用光照射器と光照射時間＞*

歯科重合用光照射器	照射時間
ハロゲンランプ歯科重合用光照射器	20秒
LED 歯科重合用光照射器 (700 mW/cm ² 以上)※1	10秒
LED 歯科重合用光照射器 (2000 mW/cm ² 以上)※2	6秒

- ・ハロゲンランプ歯科重合用光照射器：有効波長が 400～515 nm
- ・LED 歯科重合用光照射器：光源が青色 LED で発光スペクトルのピークトップが 450～480 nm

※1：例えば

G ライトプリマ II Plus 10モード
スリムライト Lowモード

※2：例えば

G ライトプリマ II Plus F 3モード (3秒×2回)
スリムライト Highモード (3秒×2回)

【使用方法等に関連する使用上の注意】

- 1) 歯面清掃は細かい粒子の研磨ペーストをブラシ又はカップにとり、低速のエンジンで接着歯面を清掃すること。*
- 2) エアーシリンジ等を使用して歯面及びコンディショナー塗布面の乾燥を行う場合には、事前にオイルミスト等接着阻害物質が噴射されていないことを確認してから使用すること。[接着阻害物質により接着力が低下するため]
- 3) 本材は、標準粉液比 (粉/液=3.0 g/1.0 g) で使用すること。[標準粉液比以外では本材の特性が得られないため]
- 4) 粉末を多く採りすぎると稠度が低くなり、操作時間が短くなるので注意すること。粉末を使用する際は、キャップ部分を指で持ち、もう一方の手で軽く瓶をたたくようにして粉をほぐし、パウダースプーンをなるべく垂直に立て、すり切り、採取すること。
- 5) 液容器を開封した最初の 1～2 滴は量が少なく出るので、3 滴目から使用すること。
- 6) 液の計量は、液容器を逆さにし、ノズルを練和紙から離して滴下すること。[正しく計量するため]
- 7) 本材は、セメント層が薄い方が、より高い接着強さを示すため、ポジショニングの後にインスツルメントなどでしっかり押さえること。
- 8) 基本的には、初期硬化が完了した後のワイヤー装着は、比較的弱い矯正力にとどめること。充分な硬化を期待する場合は、ボンディング後 24 時間経過してから処置すること。
- 9) 本材は、室温が高くなると操作時間が短く、また室温が低くなると長くなるので注意すること。[本材の硬化反応は温度の影響を受けるため]
- 10) 光強度の弱い照射器を使用した場合、充分な硬化が得られないことがあるので、光強度の強い照射器を使用すること。
- 11) ボンディング撤去は、通法に従い行うこと。歯面に残るセメントに関しては、超音波スケーラーやポイントを用いて除去すること。*

【使用上の注意】

- 1) 使用注意 (次の患者には慎重に適用すること)
 - ① 薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本品及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。
- 2) 重要な基本的注意
 - ① 本材の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。

- ②本材に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本材を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
- ③液、練和物又はオルソコンディショナーは、口腔軟組織や皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。付着したときは、すぐにアルコール綿などで拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入ったときは、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。
- ④光照射の際は保護メガネなどを使用し、照射光を直視しないこと。〔目を痛める恐れがあるため〕
- ⑤他の製品と混用しないこと。〔本材の特性が得られないため〕
- ⑥液容器のノズルに付着した液は、湿ったガーゼなどで拭き取ること。〔液が付着すると正しく計量できなくなるため〕
- ⑦粉末と液の容器は、使用后すぐに密栓すること。特に粉末は湿気に触れないように注意すること。〔吸湿すると硬化しなくなるため〕
- ⑧液は光に反応するので、使用後はすぐに密栓すること。〔硬化しなくなるため〕
- ⑨本材は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。
- ⑩本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- ⑪本材については、試験によるMR安全性評価を実施していない。
（自己認証による）**

3) 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

(1) [併用注意]（併用に注意すること）

- ①本材の使用に際しては、ジーシー オルソコンディショナーを必ず使用すること。〔接着力を向上させるため〕
- ②オルソコンディショナーの塗布に使用した筆等は、患者間で交差使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・直射日光を避け、室温で保管する。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。

[有効期限]

本材は、包装に記載の使用期限※までに使用する。

※（例 EXP. 2027-04 は
使用期限2027年 4月 を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : 株式会社ジーシー

主たる設計元 : 株式会社ジーシー

発売元 : 株式会社ジーシー

住所 : 〒113-0033

東京都文京区本郷3丁目2番14号

電話番号 : (お客様窓口) 0120-416480